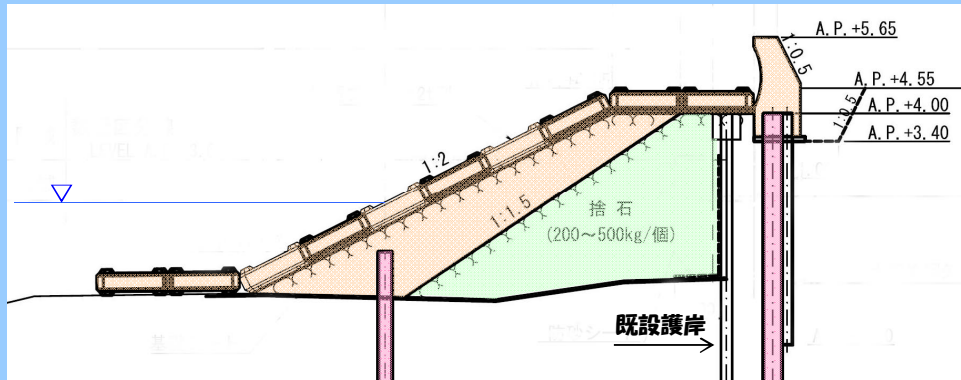


1丁目護岸工事着手（平成23年）から 2年2ヵ月後の検証・評価

< 防護 >

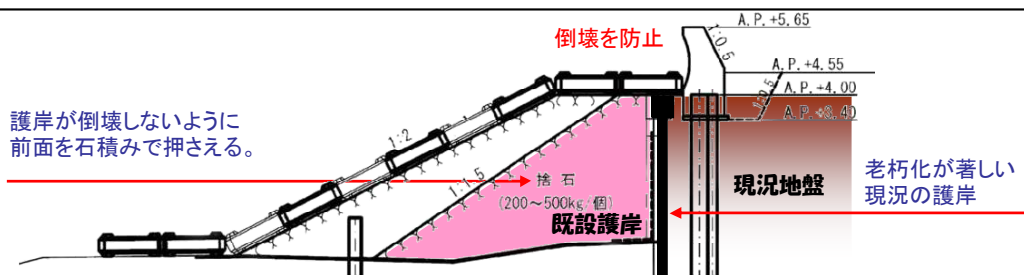


平成26年1月

1. “防護”に対する3つの指標

- ① “緊急対応”への指標：既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。

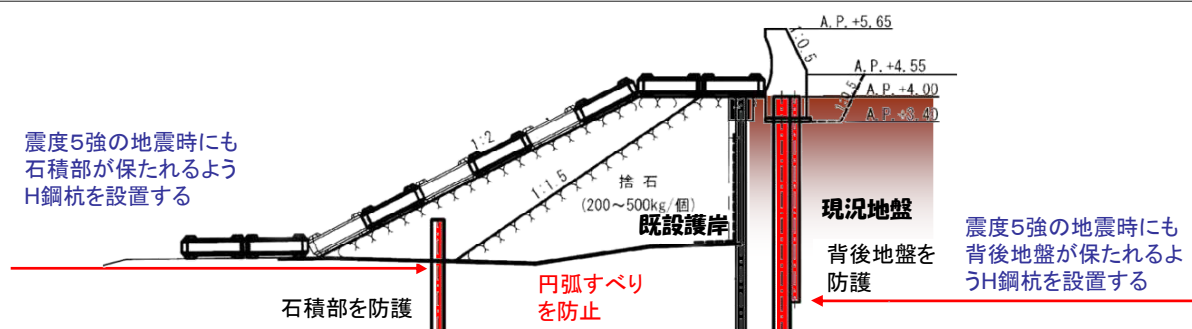
◇既設護岸の倒壊を防止。



- ② “耐震”への指標：H鋼杭（海側、陸側）が打設されたか。

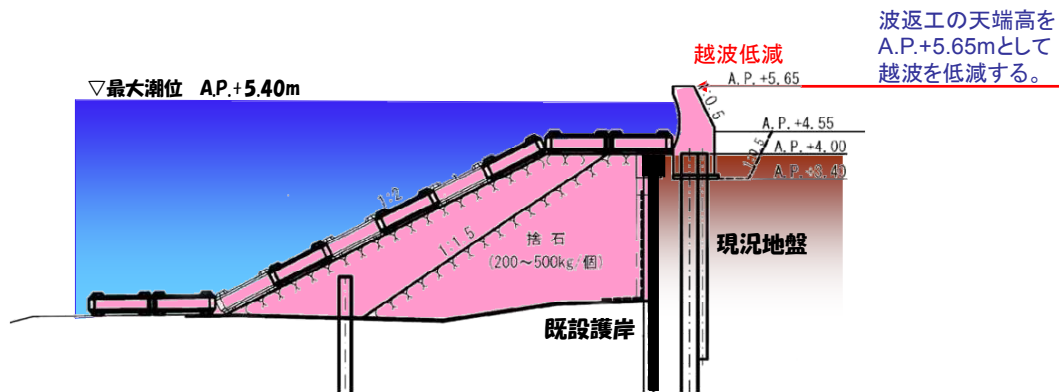
◇海側は石積部の震度5強への防護を確保

◇陸側は背後地地盤の震度5強への防護を確保



③ ”越波低減”への指標 : 傾斜堤の高さがA.P.+5.65mに達しているか。

◇A.P.+5.65m(波返工)により越波低減を図る



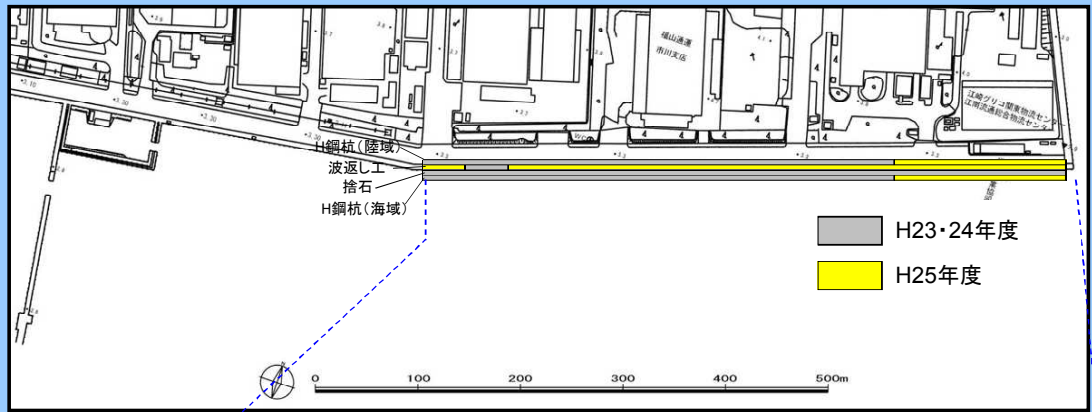
2. 検証基準

目標達成基準

早急な安全性の確保

検証項目	目標達成時期	検証場所	基準とする値
防護の確保状況	平成25年度頃	塩浜1丁目	<p>地域の防護に対する3つ指標がそれぞれ施工延長600mにわたって、</p> <p>①緊急対応への指標 100%</p> <p>②耐震の指標 100%</p> <p>③越波低減への指標 100%</p> <p>を確保すること。</p>

3. H25年度工事の検証結果(施工中を含む)



海域工事	捨石(倒壊防止)	600m		
	H鋼杭(耐震)	440m		160m
陸域工事	H鋼杭+鋼矢板(耐震)	440m		160m
	波返し工(越波低減)	40m	36m	524m
		40m	36m	364m
		160m		

	実績	状況	実績	状況	実績	状況	実績	状況
①緊急対応	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%
②耐震(H鋼杭:海・陸)	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%
③越波低減(+5.65m)	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%	有り	100.0%

※上表の各評価については、(区間ごとの進捗率)×(区間延長/全体延長)の合計で算出します。

4. H25年度工事の検証結果(指標ごと)

① "緊急対応"への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。

◇既設護岸の倒壊を防止 ⇒ 100 / 100

② "耐震"への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。

◇海側は石積部の震度5強への防護を確保
◇陸側は背後地盤の震度5強への防護を確保

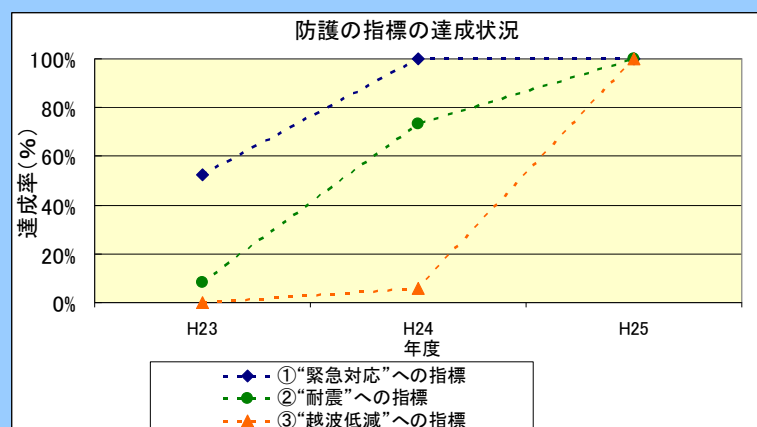
⇒ 100 / 100

③ "越波低減"への指標 : 傾斜堤の高さがA.P.+5.65mに達しているか。

◇A.P.+5.65m(波返し工)により越波低減を図る

⇒ 100 / 100

施工年次毎の
達成状況



5. H25年度工事の評価

目標達成 基準	早急な安全性の確保
------------	-----------



検証結果	① ” 緊急対応” への指標 ⇒ 100/100 (100/100) ② ” 耐 震” への指標 ⇒ 100/100 (73/100) ③ ” 越波低減” への指標 ⇒ 100/100 (6/100)
------	---



注)カッコ内はH24年度

防護の 評価	・ <u>”緊急対応”、”耐震”、”越流低減”ともに、100%完了予定である。</u>
-----------	---